

town topics

まちの話題

このコーナーは、町の話や活動などを紹介しています。情報があれば、市役所秘書広報課まで。

☎ 22 - 3111 内線 207



▲お母さんと一緒に料理に挑戦！



▲出荷者協議会の藤原晃さんから野菜のお話

市内で収穫された米や野菜を材料に親子食育料理教室を開催、7組21人の親子が参加しました。北はりま農産物直売所出荷者協議会の藤原晃さん、高岡千佐子さんが「子育てと同じように農家の皆さんは野菜に愛情を注いでいる」と話されました。調理の指導は企業組合黒つこマザーズの皆さん。でき上がった豚汁、五平餅、おにぎりに「おいしい」と笑顔がこぼれていました。

勤労福祉センター

3/6 地域の皆さんに感謝

しばざくら荘



▲車いすを寄贈する西協中の生徒たち

西協中学校の生徒が回収したアルミ缶の売却益で、しばざくら荘に車いす1台を寄贈。生徒会福祉委員会の活動の一環で、平成23年は2、4、6月に回収活動を行いました。

「活動を通じて地域の皆さんに何かできることはないかとみんなで相談した」と福祉委員長の影山正也さん。福永秀行施設長は「若い中学生が福祉に興味を持ってくれることも嬉しい」と感謝を伝えました。

3/11 花と緑豊かなまちを目指して

北はりま旬菜館



▲重春幼稚園児と市花「しばざくら」を記念植栽

花と緑豊かなまちへの関心を深め、花と緑につつまれた西脇市づくりの推進を目的に第3回緑花祭を開催、緑化功労の2団体に「みどりの章」(P20に掲載)、4人に「花と緑の協会長賞」をお贈りしました。表彰後には、元氣いっぱいのリズム演技を披露した重春幼稚園児も一緒に、市の花「しばざくら」の記念植栽を行いました。開催には多くの団体の協力があり、当日は大勢の参加者でにぎわいました。

2/17 福島の高中生ランナーを激励

西脇ロイヤルホテル



▲招待選手らにドリンクなどを贈呈

2月の第4回西脇多可新人駅伝競走大会を前に、本大会に招待された福島県の田村高校、学法石川高校の歓迎会が開催されました。両校には、西脇市在住で田村市出身の山本り子さんとご主人の剛寛さんからスポーツドリンク、市からは友好都市・北海道富良野市で生産された「にんじんジュース」を贈りました。



▲播州織の加工工程を見学(播州織協同組合)



▲播州織工房館で手織り体験

友好都市・北海道富良野市から播州織など西脇市が持つ地域資源の魅力を感じることとを目的に7名の市民が来西されました。今回は富良野オムムカリー推進協議会主催の体験学習ツアーで、富良野オムカリーと播州織の「食」と「衣」の連携方法を探るため、同協議会関係者や市民が播州織加工場の見学や播州織の手織り体験、また西脇高校生活情報科の先生とも懇談しました。

西脇市内

3/2~4

特産品で富良野市と連携



▲懇談会の様子

西脇市と多可町では、自治体の枠組みを越えて、地域全体の活性化や生活機能の強化を図るため、国の制度である定住自立圏構想に取り組んでいます。昨年3月に両市町で連携して取り組む事業を示した「北はりま定住自立圏共生ビジョン」を策定、その進み具合や来年度の計画事業を話し合う懇談会を開催し、委員からは斎場の増設への評価や観光の活性化に関する意見などが出されました。

生涯学習まちづくりセンター

3/1

西脇市域の将来を見据えて

2/24~26 11市町の優秀作品を展示

市民会館



▲優秀作品を一覧に展示

東播磨・北播磨地域の8市3町で開催された公募美術展で上位入賞した日本画・洋画・彫塑・工芸・書・写真・デザインの7部門85点の作品を展示した「第31回東播磨選抜美術展」を開催。この美術展は、洗練された高度な作品を身近に展示し、創作意欲を喚起することを目的に毎年持ち回りで開催されています。

3/22 カンボジア王国の消防救急に貢献

西脇消防署



▲カンボジア王国から北はりま消防組合へ感謝状

北はりま消防組合は、日本国際救急救助技術支援会(JPR)を通じて、カンボジア王国に救急車や消防車など、4車両を寄贈しました。

JPRは救急救助技術の支援や、支援に必要な資機材の調達・輸送などを行われています。